

活動名	実施回数	参加人数										合計	内 容	成 果 と 課 題
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
(2)遊びの教室活動 工作	25	0	9	266	25	70	0	0	0	10	0	380	隔月で5日間、季節の工作や作ってあそべる内容のものを企画した。(プラバン、万華鏡、ストロー飛行機、ハロウィンのお面作り、クリスマス工作、マジックハンド)作り方の説明書を作り、各自でも考えながら取り組めるようにした。	昨年までは3日間で行っていたが、学校からの帰館後の時間や、できるだけたくさんの子どもたちが参加できるようにと考慮し、5日間に期間を伸ばした。その結果、子どもたち自ら参加する日を考えたり、途中で終わることなく最後まで仕上げる事ができていた。また、作るだけでなく、作った物であそんだり飾ったりできるような内容を工夫した。低学年と高学年が同じ物を作ったことで、工作手順の用紙だけでは伝わりにくいところがあったが、お互いに教え合う姿が見られていた。
チャレンジ	27	0	9	421	6	63	0	0	2	0	0	501	隔月で5日間、伝承あそびや身体をつかう遊びなどにチャレンジした。(けんだま、マンカラ、卓球、ツイスター、まわり将棋)	けんだま、まわり将棋はチャレンジカードを作り、クリアできたらシールを貼るようにし、楽しみながら達成感を得ることができていた。卓球やツイスターは、身体を動かしながら取り組むとともに新たな子ども同士の関係作りができていた。
(3)行事活動 じどうかんフェス子ども 実行委員会	5	0	0	40	0	20	0	0	0	0	0	60	4年ぶりに開催されたじどうかんフェスに向けて、子ども実行委員を募り、フェスに向けてコーナー準備や当日の司会を行った。	新型コロナウイルス感染症対策のため、中止していたじどうかんフェスを4年ぶりに開催した。フェスに向けて子どもたちが主体的になり、コーナー展開のお手伝いや司会などを行ってくれた。当日までに何度も話し合いを行い、終了後も振り返りを子ども中心となり行うことができた。
卓球練習	5	0	1	34	2	12	0	0	0	0	0	49	おたのしみ卓球大会に向けて、平日5日間遊戯室に卓球台を出し、練習を行った。	卓球クラブは土曜日の実施のみだったため、土曜日に参加できない子どもたちもたくさん参加し、練習することができた。
おたのしみ卓球大会	1	0	6	0	3	1	0	0	0	0	0	10	卓球に親しみ、日頃の練習の成果が発揮できるよう実施した。試合だけでなく、各自で何回球をつけるかをカウントすることにより試合の勝敗だけでなく、楽しんで参加できるよう内容を工夫した。	卓球大会前に練習する機会を設けたこともあり、卓球クラブに登録していない子どもも楽しみながら参加できていた。試合の前に玉突き回数を競うことを行ったことによって、1年生は試合には勝てなかったが、違う形で楽しむことができていた。1年生の部と3年生以上の部に分けトーナメント戦を真剣に取り組んでいた。
クリスマス会実行委員会	5	0	0	18	3	15	0	0	0	0	0	36	クリスマス会に向けて、司会者やゲーム係、プレゼント係などを募り、子どもたちが主体的に取り組んだ。	職員が内容を決めるのではなく、子どもたちが相談し合いながら考え、やりたいことをしていくために回数を重ねて話し合うことができた。各々の準備や子どもが戸惑った時に職員がフォローをしっかりとできるように段取りを組んでおく必要があった。
クリスマス会	1	0	3	34	2	7	0	0	0	0	0	46	クリスマス会実行委員会を中心にゲームや子どもの出し物を行った。	昨年までは、新型コロナウイルス感染症対策として中止していたが、実行委員の子どもが中心となって司会やゲームを行うことができた。ゲームは班対抗で行うなど、異年齢の関りを密に行うことができたが、間延びし大幅にゲーム時間が伸びたので、子どものフォローをしっかりと行っていくことが必要だった。
大そうじ	1	0	0	33	0	6	0	0	0	0	0	39	年末に来館児童で児童館をきれいにした。	役割分担をしながら積極的に取り組んでいた。
たこ作り	1	1	19	2	3	1	0	4	0	0	0	30	鴨川河川敷でたこあげを行うため、たこ作りを行った。	高学年は自分たちでつくる事ができていたが、低学年には少し難しいようだった。
たこあげ大会	1	1	16	3	3	1	0	4	0	0	0	28	午前中にたこ作りを行い、鴨川河川敷でたこあげを行った。	天候が悪く足元が悪かったが、初めてのたこあげをする子どもも元気いっぱい走り回っていた。
避難訓練	12	0	10	379	3	78	0	0	2	0	0	472	毎月行い、火災・地震発生時における避難経路や避難方法を確認する。また、8月には左京消防署員に来てもらい、指導してもらう。9月には水害による避難の話を行った。	継続して実施することにより、防災意識の向上につながっている。

基
本
活
動
成
果

能	実習生による取り組み	2	0	2	50	0	2	0	0	0	0	0	54	京都こども芸術大学より2名の実習生が来られている期間にビンゴゲームと、工作を1人ずつ設定保育として実施してもらった。	あそびの中で行ってもらったので、全員参加とはならなかったが、楽しみながら参加していた。実習生にも集団の子どもたちをいかに興味づけて取り組みを行っていくかを学習していただいた。	
	交流ドッジボール	1	0	4	19	4	4	0	0	0	0	0	31	綿林児童館と、ドッジボール交流試合を行った。	他館と交流することが少ない中で、ドッジボール交流試合を行えたことは子どもたちにとってとてもプラスになった。当日までたくさん練習を重ね、勝ち負けだけに拘らず、ドッジボールを通して人間関係が形成できていた。	
	(4)クラブ活動 なんでもクラブ	11	0	0	0	42	12	0	0	0	0	0	54	4~6年生の児童を対象としたクラブ。感染症対策のためクッキングは避け、館外活動は徒歩圏内で行った。	自分たちで工作・館外活動の内容を考え、楽しみながら取り組んだ。毎月4~5名が参加し、それぞれのペースで活動を楽しんでいた。	
	きりえクラブ	23	0	38	23	12	14	0	1	0	0	0	88	小学生から大人を対象としたきりえに取り組む。新型コロナウイルスの影響で月1、2回・土曜日のみに行う。毎月異なる図柄を用意し、初心者でもカッターに慣れていけるよう、練習用の図柄も用意し、指導する。	例年初心者の練習日を設けたり、平日の取組も行っていたが、感染症対策として土曜日のみで行ったため、利用者に活動を知ってもらい機会が少なかった。	
	卓球クラブ	22	0	56	31	54	19	3	0	0	0	0	163	毎月2回土曜日に、小学生・中学生と時間帯を分け実施。初心者にはラケットの持ち方から練習し、ラリーができる子どもたちは、自分たちでゲームをして楽しむ。	小学生の活動時間を1時間で区切ることによって集中して楽しむことができた半面、中学生以上の参加者がなかったため、広報の仕方や中学生が来館できる曜日などに行うなどの改善が必要。	
	(7)思春期児童の活動支援 中学生GUクラブ	12	0	0	0	42	12	0	0	0	0	0	0	0	毎月1回、中学生の自主的な活動を援助する。	年間通して、ほぼ参加者がなかった。広報の仕方や中学生の来館できる曜日や時間のリサーチ、内容の検討をしていく必要がある。
	合 計	155	2	173	1353	204	337	3	9	4	10	0	2041			
推進活動	(10) 地域を知る活動 防犯・交通安全教室	2	0	2	41	1	6	0	0	0	0	0	50	不審者の対応について、川端警察署の警察官に来ていただき指導を受けた。子ども向けはDVD視聴、職員向けは実際にさすまたを使って訓練を行った。	fc	
	合 計	2	0	2	41	1	6	0	0	0	0	0	50			
子ども育成機能 合 計	157	2	175	1394	205	343	3	9	4	10	0	2091				

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和 5) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (07 京 都 市 吉 田) 児 童 館

	活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
子 育 て 家 庭 活 動	※ (1)乳幼児とその保護者 を対象とする活動 ①乳幼児のクラブ活動 はとぼっぼクラブ	38	242							217		8	467	毎週水曜日に1歳半以上の乳幼児とその保護者を対象としたクラブ。歌・手あそび、絵本、体操、工作やあそびなど様々な取り組みを通じて、親子のふれあいや、子ども同士・保護者同士の友だち作り・仲間作りを支援する。	昨年度より人数が増え、毎回10組程度の参加者があり子ども同士だけでなく保護者同士の交流も行うことができ、人間関係が広がった。
	②乳幼児のクラブ活動 びよびよクラブ	40	181							175		4	360	毎週水曜日に1歳半までの乳幼児とその保護者を対象としたクラブ。ふれあいあそび・絵本・季節の工作など様々な取り組みを通じて、親子のふれあいや、子ども同士・保護者同士の友だち作り・仲間作りを支援する。	平均4.5組の参加があり、保護者同士の交流を楽しみに参加される方が多かった。引き続き、保護者のリフレッシュや情報交換が進むような取組を行っていく。
	③乳幼児のクラブ活動 なかよしだクラブ	27	105							101			206	第2を除いた毎週金曜日に乳幼児の母親を対象とした母向け工作やエクササイズ、子育て講座などを行う。また、クラブを通じて、子ども同士・保護者同士の交流・仲間づくりを支援する。	保護者のリフレッシュや交流に重きを置いて取り組んだ。参加者からは「自宅ではできない工作ができて楽しい」という意見など、好評だった。
	子育て講座 「おやこでリズムあそび」	11	78								74		152	毎月第2金曜日にリトミックの先生に来ていただき、乳幼児親子を対象とした音楽あそびを行う。	毎回楽しみに参加してくれる親子が多く楽しく参加されていた。新型コロナウイルス感染防止対策として10組と定員を設けたが同じメンバーになりがちだったため今年度は、毎月1日からの受付開始と変更した。また、15組と定員の幅を広げたことによりより多くの親子が参加できた。
	(2)家族参加を促す活動 乳幼児さんあそびにおいでよ!	3	31	2	1	0					21		55	乳幼児クラブが行われない夏休み期間中に乳幼児親子を対象としたイベントを開催する。おはなしひろば、ミニおまつりごっこ、キラキラボール作りと内容を変え、家族での参加を呼びかけた。	夏休み期間中に行うことにより、普段来館していない親子の参加もあった。また、小学生との交流も行うことができた。
合 計		119	637	2	1	0			0	588		0	1240		
支 援 活 動	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容				件数	つないだ機関等	件数
		乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生		児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }					健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }					児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他{ }	
		件数 計	0	-					-				0	-	0
(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容				成 果 と 課 題				
推 進 活 動	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容				成 果 と 課 題							
		「京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券」の引換	20	京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券を持って、引き換えに来られた保護者に児童館ニュース等を配付し、児童館の利用促進につなげる。				児童館の利用促進というよりは、常の利用者が身近なところでごみ袋がもらえる場となっている。							

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域	基本	活動名	実施回数	主催	参加人数							連携団体	成果と課題	
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人			合計
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
		左京・東山児童館学童保育所まつり2023	1	左京・東山児童館学童保育所まつり実行委員会	0	3	4	1	1	0	0	9	左京区各種団体	3年ぶりに引率を行い参加した。たくさんのコーナーを楽しむことができた。
		吉田区民夏まつり	1	吉田区民夏まつり実行委員会	0	36	3	9	1	0	0	49	地域各種団体	4年ぶりに開催された。学童クラブの子どもたちの手話うた・けん玉の披露や児童館からは工作（フープベットの）、ストラックアウトをコーナー出店した。
		高校生とミニおまつりであそぼう！	2	京都精華学園高等学校	17	0	0	0	0	0	14	31	京都精華学園高等学校	京都精華学園高等学校で実施。土曜日に実施することにより父親の参加も多く、乳幼児親子と高校生との良い交流となった。
		左京南部親子スマイルひろば	1	親子スマイルひろば実行委員会	4	0	0	0	0	0	3	7	左京南部児童館・学童保育所	北白川児童館にて実施。連休明けで、参加人数が少なかったが親子でのびのびあそぶことができていた。
		じどうかんフェス2023	1	吉田児童館	40	49	3	22	2	6	71	193	学童クラブ保護者会	実行委員の子どもたちが司会や子どもスタッフとなり、有志の保護者と一緒にコーナーを展開した。オープニングは、学童クラブの子どもたちによる手話うた・けん玉を行った。地域の乳幼児さんから大人までたくさんの参加者があり盛り上がった。
		すくすくサロン	9	吉田社会福祉協議会	57							111	吉田社会福祉協議会	地域の主任児童委員が主となり、乳幼児親子に様々な支援を行った。講師を招いてヨガやフラワーアレンジメントなどを行いたくさんの参加者があった。
		合計	15	—	118	88	10	32	4	6	142	400		
		活動内容				活動人数				成果と課題				
		活動内容				中学生	大学生	大人	合計	成果と課題				
		(2) ボランティア活動の推進				あそびのボランティア				中学生や大学生が来館し、小学生と交流を行うことができた。				
						52	5		57					
		合計				52	5	0	57					
		連携団体等		連携内容				成果と課題						
		吉田社会福祉協議会		吉田子育て支援ネットワークに参加。				吉田子育て支援ネットワークを3回実施し、近況報告や情報交換をすることができた。						
		民生児童委員（主任児童委員）		すくすくサロンへの参加。乳幼児クラブでの交流。吉田子育て支援ネットワークに参加。										
		赤い実保育園		毎月、児童館ニュースを配布し、児童館事業を知ってもらう。										
		風の子保育園		左京東山児童館学童保育所まつりや、じどうかんフェスのチラシ、ポスターの掲示を依頼。										
		べ스타ロッタ保育園		依頼。										
		あおぞら保育園		吉田子育て支援ネットワークに参加。										
		第四錦林小学校		児童館ニュースの全児童配布。小学校のクラス担任と学童クラブ担任との懇談。吉田子育て支援ネットワークに参加。										
		吉田幼稚園		左京東山児童館学童保育所まつりや、じどうかんフェスのチラシ、ポスターの掲示を依頼。吉田子育て支援ネットワークに参加。										
		左京子どもはぐくみ室		児童館ニュースの掲示と配布。左京子どもはぐくみ室が発行する情報誌の配布。										
		左京保健センター		児童館ニュースの掲示と配布。										
		養正保育所		児童館ニュースの掲示と配布。										
		吉田自治連合会		児童館ニュースの町内回覧。										
		京都ファミリーハウス		毎月、児童館ニュースを配布し、児童館事業を知ってもらう。										
		左京消防署		児童館の避難訓練にて指導をしていただく。										
		川端警察署		幼児クラブセーフティ教室や、小学生対象の防犯・交通安全教室に協力いただく。										
		京都精華学園高等学校		幼児教育を選択している高校生が、乳幼児のふれあう機会を持つ。				年間を通して2回、乳幼児親子と事業を行うことができた。また、じどうかんフェスでのコーナー展開や、あそびのボランティアとしても参加していただき交流することができた。						
		近衛中学校		中学生向け取組のチラシ配布及びポスター掲示依頼。中学生と乳幼児のふれあう機会を持つ。				直接ふれあう機会もはもてなかった。						

(令和 5) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(07 京都市吉田) 児 童 館

<様式10-4>

地 域	基 本 活 動	(4) 児童館を支える 地域組織作り	組織名称		構成団体・個人	会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
			吉田みまもり隊		自治連合会・各種団体等	自治連合会	日常の組織活動の中で、子どもたちへの目配りを行う。	職員もみまもり隊に加入し、地域の子どもの安全に目を配る。
福 祉 促 進 機 能	推 進 活 動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的	提供先(団体・機関等)	成果と課題	
			育成室、遊戯室		手話練習	吉田民生児童委員会	感染症対策のため中止	
			育成室		役員会・各実行委員会等会議	学童クラブ保護者会	感染症対策のため中止	
			ホール		すくすくサロン	吉田社会福祉協議会	各団体の皆さんに来てもらい、交流をもつことで良好な関係を築くことができている。	
機 能	推 進 活 動	(6) 地域調査活動	調査名	調査目的		調査主体	調査方法	成果と課題
			児童館利用者アンケート	①利用者ニーズの把握 ②開かれた児童館づくりを 実践できる職員の育成。 ③市社協が運営する児童館 であることの周知。 ④アンケート結果を受けて の事業の改善、充実。	児童館利用の小学生 児童館利用の中学生 児童館利用の保護者	京都市社会福祉協議会	・小学生、中学生はその場 で記入し回収した。保護者 や乳幼児親子は、今年度より QRコードを読み込んでい ただきWebでの回答を依頼 した。	ほとんどの子どもたちが友だちと楽しくあそべて楽しい という意見が多く得られた。しかし、学童人数の増加 で、ゆっくりできないという意見も多く、環境整備や遊 び方の工夫が必要である。Webでの回答となり、その場 で行わないためか回答数が減少した。
			はとぼぼクラブアンケート なかよしだクラブアンケート びよびよクラブアンケート	次年度の運営参考	各乳幼児クラブ参加者	児童館	・クラブ終了時に記入・回収	乳幼児クラブに登録されている保護者から感想・要望を 聞くことができた。

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題	
広 報	児童館の利用案内	随時	利用者	来館受付に常備し、来館者に配付	児童館の案内	初めて来館する方やボランティアの方などへの説明用に活用できた。	
	児童館ニュース	月1回	地域住民	地域委員を通じての回覧および館前の掲示板上に掲示	各施設に設置してもらう	児童館の案内・月の行事のお知らせ	町内回覧および小学校の児童全員に配付することにより、多くの方に児童館ニュースが見てもらえている。
			第四錦林小学校全世帯	小学校を通じて全世帯に配付			
			児童館利用者	児童館入口にて設置			
			養正保育所				
			朱い実保育園・風の子保育園				
			ベスタロッヂ保育園				
			あおぞら保育園				
			左京子どもはぐくみ室				
			左京保健福祉センター				
民生児童委員	直接配付						
京都ファミリーハウス							
乳幼児保護者	民生児童委員を通じて配付						
活 動	はとぼっぼクラブだより	月1回	はとぼっぼクラブの保護者	クラブ内全員配付	行事のお知らせ・歌、手あそびの紹介	各クラブの予定や連絡に活用できた。びよびよだよりは発行回数を増やした。	
	びよびよクラブだより	月1回	びよびよクラブの保護者	クラブ内随時配付			
	はとぼっぼクラブ案内	随時	はとぼっぼクラブ登録希望者	直接配付	はとぼっぼクラブの案内説明	登録を希望する方に渡し、説明を行うことができた。	
	なんでもクラブ案内	随時	なんでもクラブ登録希望者	登録希望者に直接配付	クラブの内容説明	登録希望者と保護者に内容を知ってもらうことができた。	
	中高生GUクラブ案内	1回	近衛中学校全生徒	中学校を通じて全員配付	クラブの内容説明	参加者がなかったため、広報方法を考えていくことが必要。	
	卓球クラブ案内	随時	登録希望者	児童館内に掲示	行事案内	行事の案内を通じて、児童館の活動を知ってもらうことができた。	
きりえクラブ案内	随時	登録希望者	児童館内に掲示				
乳幼児さん、あそびにおいでよ	1回	地域住民	児童館前に掲示				
		乳幼児保護者	来館者に告知・配付				